

大和市議会議員 虹の会
おおなみ 修 二

2019年12月議会の報告
大和市西鶴間5-22-6 TEL 263-0578
HP <http://onami-syuii.com/>



「ゲノム編集」という今まで考えられなかった遺伝子操作で、果たして私たち人間は幸せになれるのか。今起きている異常気象は、温暖化が原因と言われています。子どもたちの未来を守る義務があります。自分たちの生活を見つめ直しましょう。 **大波修二**

「ゲノム編集」食品は
健康と直結・安全に不安

大波質問 いま「ゲノム編集」という食品が登場しています。今までの「遺伝子の組みかえ」をさらに進化したものです。例えば鮭の筋肉量を押しさえる遺伝子を壊すと、筋肉量が抑制できず、筋肉

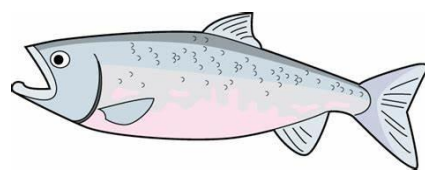
質で成長が早い、普通の2.5倍の大きさの鮭になります。逆に成長ホルモン遺伝子を破壊し、わずか数キロという豚も誕生しています。大事な遺伝子の働きが失われ、次世代以降に影響が出るおそれがあると言われています。厚生労働省は、遺伝子組み換え食品には安全審査を義務づけていますが、ゲノム編集食品は届け出だけで、審査の義務も「ゲノム編集」の表示も必要なしとし、既に市場に出回っています。歴史が浅い技術で、健康に直結する食の問題だけに、安全に不安を抱く消費者への配慮を全く欠いています。ゲノム編集食品の市民への注意喚起、学校給食の食材使用について考えを聞きたい。

市答弁 本年10月から食品として販売可能となり任意表示となつているのは承知している。国の動向を注視し、安全安心な消費生活を送ることができるよう情報を収集し、適切なタイミングで情報を発信していく。ゲノム編集食品は品種改良の範囲内と考えるが、学校給食としては、今後の国の動向を注視していく。

大波意見要望 「国の動向を注視する」では非常に不十分です。市民の命を守るために、なにをなすべきかを積極的に考えてほしい。

生活奏・陶芸など 親しめる街に

大波質問 生活水準の向上や自由時間の増加に伴い、人々は心の豊かさや生きがいなど、精神的な充実を求めるようになり、ニーズも高度・多様化しています。最近話題になつている「駅ピアノ」いいですね。音楽は悲しい曲を聞いたら悲しくなり、明るい元気な曲を聞けば楽しく元気になります。また陶芸は今若い女性を中心に静かなブームを呼んでいます。自分だけのオリジナル作品は忙しい毎日で疲れた心と体を癒してくれます。食器として日常使用できることも魅力で、幅広い年代から注目を集めています。誰もが気軽に楽しめる音楽に出会う街大和の取り組み、陶芸ができる公共



ゲノム編集された鮭



普通の鮭

施設と陶芸サークル活動の実態について尋ねます。

市答弁 気軽に音楽を親しんでいたため、各コミュニティセンターで毎年プロの歌手やピアノ、バイオリンの演奏が楽しめる「コミュニティ音楽館」を開催し定着している。また、シリウスのメインホールホワイエでは、定期的に音楽コンサートを無料で実施、病院や幼稚園等でお出かけコンサートも実施している。生の演奏を楽しめる機会を提供していく。陶芸窯を備えた公共施設は、引地台中学校の美術室と、保健福祉センター3階の第1講座室です。この二つの施設合わせて5団体が利用している。

大波意見要望 大和市はもうすぐ24万人になります。美術館、博物館、映画館等もない街です。音楽や陶芸を含めて、さまざまな文化に触れる体制をぜひ広げていただきたい。



趣味を気楽に

異常気象が多い中

災害対策の見直しを

大波質問

市民の安全確保のため、災害の発生を常に予想し、備蓄は「他から援助が来る」という概念を見直し、ハザードマップは過去から現在までの災害危険地区診断図ですが、整理活用し迅速・的確な避難で、被害の低減を図る必要があります。地震は今後30年の間に70%の確率で発生すると言われ、豊富な知識と技術、訓練、備えが必要となります。避難生活施設は人間らしい生活が保障できる救護・保護施設です。長期化と、寒冷対策など、収容所感覚的であってはなりません。いろいろな事情の人たちを適切に保護する必要があります。時には独自の判断で行動する必要があります。最近の異常気象を踏まえた災害対策等の考えを尋ねます。

市答弁

災害の想定外をなくするための対策に取り組んでいる。雨水管の整備ややまと防災パークの地下貯留施設が浸水対策に大きな効果を発揮している。適切な避難行動をする際情報が最も重要と考え、本年度はリアルタイムの雨雲の動き、河川の水位などを本市独自の防災気象情報サイトを

開設した。土砂災害警戒区域内では戸別訪問により注意喚起をする。避難生活施設運営標準マニュアルを作成している。防災マップには、大和市全域地図に避難場所や避難生活施設、土砂災害警戒区域などを記載し、非常持出品、地震発生時の行動などを掲載している。

大波意見要望

防災マップに関東ローム層の強さ・活断層の有無など必要な情報を載せ市民に心構え・認識を促して欲しい。



備えあれば
憂いなし

外国籍の子どもたち

全員に義務教育を

大波質問

大和市の外国籍の人は現在7000名を超えていると言われています。働く外国人が増加すれば、当然外国籍の子どもも増加していきます。その子どもたちに、義務教育の目的である個人の確立と人間教育、民主主義教育を学んでいただき、しっかりと大和市民になっていただくの

は当然です。外国籍の就学していない子どもがいます。外国籍の子どもとの就学数、就学促進の取り組みについて伺います。

市答弁

外国籍の子どもの就学数は令和元年5月1日現在、小学校248人、中学校137人です。住民登録がされている小・中学校入学年齢の外国籍の子どもには案内を送付し、就学の意思を確認している。日本語の支援が必要な児童生徒には、個別に日本語指導を行うプレクラスなどの活用を促している。

大波意見要望

義務教育を受けていない子どもには、ぜひ小・中学校に入学していただきたいです。また夜間中学の設置の検討もお願いします。



みんなで
学校へ行こう

会計年度任用職員の

労働条件の改善を

大波質問

日本全体の地方公共団体の職員は、1994年の328万人をピークに、定員適正化な

どで23年間連続して減少し、現在は約270万人となっていています。一方非正規職員は増加し約64万人となりました。大和市役所でもフルタイムの正規職員の約1400人に対し、非正規職員は約2000人を超えていると言われています。各種手当も不十分で、年休や各種休暇でも正規職員と差がつけられ、会計年度職員は、地方公務員法で規定された公務上の義務、規則、人事評価が適用されず。労働面で正規職員との格差を残したまま義務や規定、処罰だけは正規職員並みとは大きな問題です。会計年度任用職員制度の導入に伴い、市の考えを尋ねます。

市答弁

会計年度任用職員制度導入を理由とした雇い止めはしないものと考えており国が示すマニュアル等に基づき報酬や労働条件を整えていく。一定の条件を満たす場合には期末手当を支給、育児休業や介護休暇などの取得を可能とする。補助的業務を担う任用はパートタイムの会計年度任用職員のみを設置していく。

大波意見要望

会計年度任用職員は圧倒的に労働条件が低い。順次改善をぜひ望みます。(詳しくは大和市議会HPをご覧ください)